

おおとも りゅう た ろう
大友 柳太朗 (1912~1985)



俳優。山口県玖珂郡麻里布村(現、岩国市)出身。本名は中富正三。愛媛県立松山中学校(現、県立松山東高等学校)を卒業後、大阪へ出て新国劇に入り、辰巳柳太朗に師事し、同じ松山中学校出身の映画監督・伊藤大輔から「大輔」の名を譲り受け、中富大輔の芸名で舞台を踏んだ。東映時代劇の黄金時代を担った一人で、片岡千恵蔵、市川右太衛門に次ぐ看板スターとなって活躍し、映画「怪傑黒頭巾」、「丹下左膳」などの主役が当たり役となった。また、松山中学校時代には、同級生だった石田波郷に句作を勧め、同人誌の発行などを行った。

略歴

明治45(1912)年 6月5日	山口県玖珂郡麻里布村柱島に生まれる。
大正13(1924)年	愛媛県立松山中学校への進学を目指し、松山へ移る。
大正14(1925)年	愛媛県立松山中学校に入学。在学中、石田哲大(波郷)とともに同人誌を発行し、俳句・短歌・詩を発表
昭和5(1930)年 3月	卒業。俳優になるべく大阪へ出る。
9月	辰巳柳太朗の弟子となる。芸名は中富大輔
昭和11(1936)年10月1日	新興キネマに入社し、映画界入り。芸名は師匠の名を貰い大友柳太朗に改名
昭和12(1937)年 1月17日	初主演作品「青空浪士」が封切り
昭和17(1942)年	新興キネマほか2社が合併して大映映画が発足し、同所属となる。
昭和24(1949)年	片岡千恵蔵らとともに東横映画に移る。
昭和25(1950)年	芸名の字を大友柳太朗に改める。
昭和26(1951)年	東横映画ほか2社が合併して東映が発足し、同所属となる。
昭和28(1953)年11月29日	当たり役となった「怪傑黒頭巾」シリーズの第1作が封切り
昭和33(1958)年 3月18日	ヒット作「丹下左膳」シリーズの第1作が封切り
昭和42(1967)年	東映との専属契約を終了。以後、テレビや舞台に多数出演
昭和60(1985)年 9月27日	伊丹十三監督「タンポポ」に出演。遺作となる(11月23日封切り)。 73歳で永眠

(写真提供：東映太秦映画村・映画図書館)

〈関連図書〉

- ・愛媛県史編さん委員会『愛媛県史 人物』 愛媛県 1989年
 - ・大友柳太朗友の会『大友柳太朗快伝』 ワイズ出版 1998年
- 〈主な収蔵資料〉…(P232, 168)